

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	目標値	本年度実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先	
294420_大淀町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域ボランティアや学習支援ボランティアの指導員の数が増減傾向にあり、人員の確保や育成が困難になってきている。	ボランティアの募集を大学の教育学部などに広げ、応募に繋げることができた。	学校が期待するボランティアの活動内容を明確にし、学校が望むボランティア活動を実施するため、引き続き広くPRする。更に、今年度は、大学生ボランティアによる支援を学校と調整し、活動につなげる。	学校・地域の役割分担の明確化により教員の業務負担の軽減。児童生徒の学力向上にも繋がる。	各校で活動する学習支援ボランティアの総数、新規ボランティアの発掘	16	人	25	20	2	目標値には届かなかったものの、学生ボランティアの確保により、小学校3校に授業を支援できる体制を始められた。引き続きボランティアの確保に努め、支援できる日数を増やしていきたい。	<a href="http://www.town.oyodo.lg.jp/contents_detail.php?frmId=82">http://www.town.oyodo.lg.jp/contents_detail.php?frmId=82</a>